

簡単操作ガイド

はじめに

ログイン(アクセス方法)

- ①ブラウザの上部にあるアドレスバーに <https://cloud.tmcn.jp> と入力
- ②IDと参照パスワードを入力し、ログインをクリック
 - 注1) 管理パスワードは設定変更時などの際に使用するパスワードです
 - 注2) パスワードはセキュリティの為、お客様でご変更願います
変更方法は「メニュー」の「設定」から



閲覧ブラウザ: HTML5をサポートするブラウザ(最新のChrome、Microsoft Edgeを推奨)
ブラウザ端末: 1GHz、Dual Core 以上のCPU、4GB以上のメモリを推奨 (複合グラフをご利用の場合)

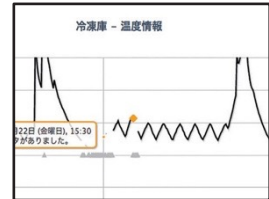
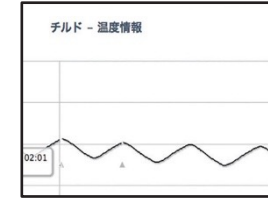
最新マニュアルのダウンロード方法 (簡単操作ガイドよりも詳細な情報を掲載)

- ・操作マニュアル: 本サービス利用する上で必要な情報を記載
→ログイン後、右上「メニュー」の「マニュアル」からダウンロードできます
- ・管理者マニュアル: 設定の変更など本サービスの管理者が必要な情報を記載
→ログイン後、右上「メニュー」の「設定」から「詳細画面」に移ると(管理パスワードが必要)画面の一番下からダウンロードできます
- ・統合監視マニュアル/モバイルマニュアル
→統合監視IDを契約されたユーザのみダウンロード可能で、統合監視IDでログイン後、右上「メニュー」のマニュアルからダウンロードできます

■データの表示状況と定期レポートについて

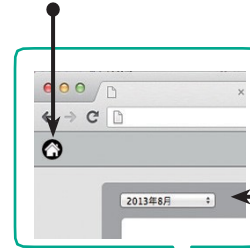
決められた時間に定期レポート(再起動)を実施します。

- ・データ取得されていない場合に▲が表示
- ・不正なデータを取得すると◆マークを表示



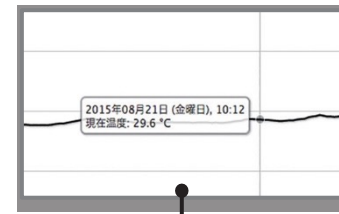
メイン画面へ戻る

画面左上のロゴをクリックするとメイン画面に戻る



マウスオーバー

グラフ上にカーソルを持っていくと、日時、時間、その時点の温度を表示



プルダウンから月を選択



詳細画面

時間選択ボタン

範囲の指定が可能
デフォルトは全てで設定

メモ入力

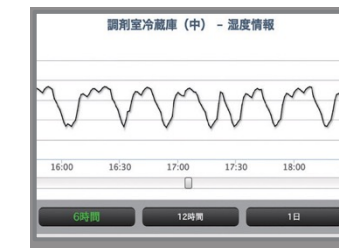
折れ線グラフ上でクリックするとメモ作成入力画面を表示



グラフ上にメモを表示

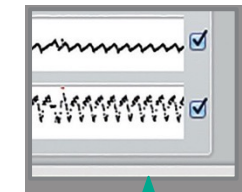
スライダーバー

設置日から確認した時点までの、全データが閲覧可能



複合グラフの作成

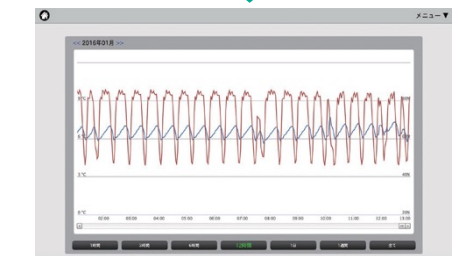
複数センサの状況を同時に見ることができます。



- ① 折れ線グラフの右のチェックボックスをクリック



- ② 画面右上の「複合グラフを作成する」をクリック



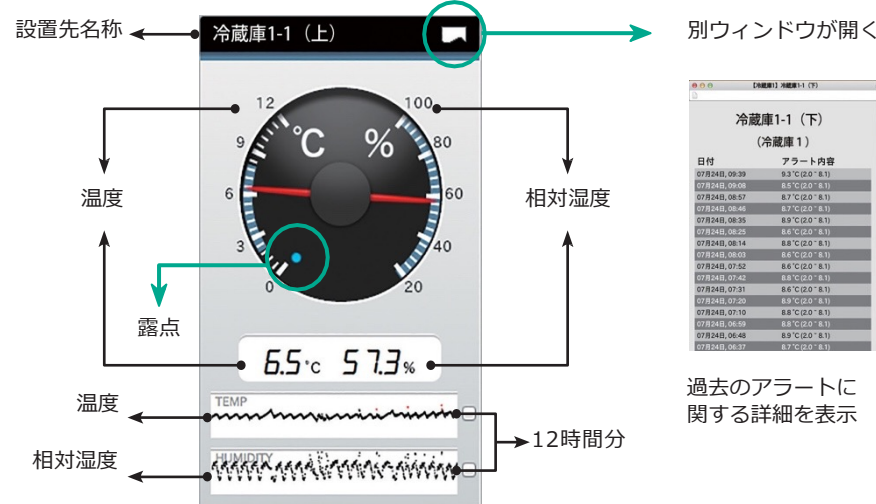
折れ線グラフに直接マウスオーバーすると記録を実数で表示

裏面へ ← MKT・レポート



メイン画面

ゲージ 各ノード毎の詳細を表示



簡単操作ガイド（表面からの続き）

レポートの出力

① 定期レポートの自動生成と出力設定

- ・メイン画面のメニューをクリック
- ・定期レポートをクリック
- ・新規作成をクリック



- ・レポートでデータ出力したいセンサを選択



- 1.月次、週次、日次から希望のレポートを選択
- 2.レポートの期間（レポート開始の起点）を選択
起点時間は00:00を選択することをオススメします
- 3.レポートに出力したい時間を選択
180分（3時間）ごとのデータ、もしくは1200、1500、2100など具体的な時間を選択できます
- 4.レポートが出力（送信）される時間を選択
例えば毎月1日7:00に前月分のレポート出力をするなど自由に設定できます



- 1.レポートの種類を選択
 - 月次
 - 週次
 - 日次
- 2.レポート作成期間を選択
01日 00:00から1ヶ月後まで
- 3.データ取得種別を選択
 - 時間間隔指定
 - 時間指定
 - 1分毎
 - 180分毎 (10~720)
- 4.レポート作成タイミングを選択
 - ※ 出力データ量によっては、送信まで1時間程度かかることがあります
 - 日
 - 時
 - 分

- 5.オプションを選択
 - VL（バーチャルロガー）適用
 - データ補完適用
 - データサマリー出力
 - 指定センサを1シートにまとめる
 - 各センサを個別のファイルに出力
 - 警告/メモ出力

- 6.レポートのファイル形式を選択
修正不可能なPDFや編集可能なXLSX/CSVを選択できます
Windows PCをご利用の方は文字化けを防ぐために、CSVではなくXLSXで出力することをオススメします
- 7.自動出力の完了通知
レポートは複数アドレス（最大10件）にメールで通知することが可能で、メールにZip形式でファイル添付することも可能です



- ・既に設定しているレポートの内容を確認したり、設定済みのレポートの内容を変更することが可能です



② 選択期間のレポートを速やかに自動生成

- ・定期レポートの設定と同じ要領で、選択した期間のレポートを速やかに自動生成できます



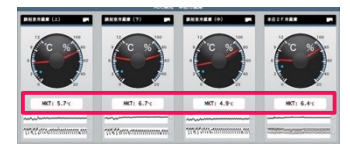
- ・月次、週次、日次レポートだけでなく、出力したい期間を自由に選択することが可能です



MKT(平均動態温度)表示

【1ヶ月分平均動態温度(MKT/1M)を見るには・・】

MKT/1M を選択

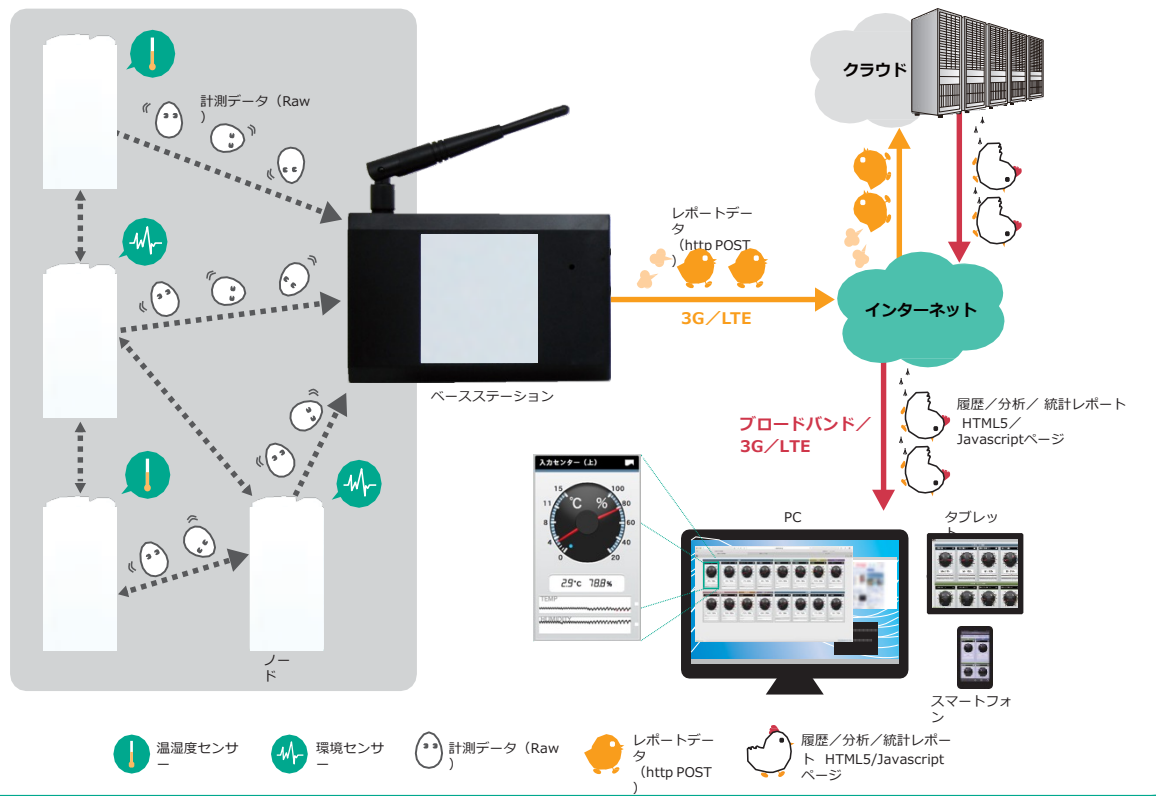


中央部 ボックス内に表示された MKT: ○○ °Cが、平均動態温度 1ヶ月分。

◆ MKT (Mean Kinetic Temperature)

製品をある一定の期間、変動する温度環境下で保存した場合に、その製品に与えられた、温度による経年変化と同じ経年変化をあたえる理論的な温度。MKTの温度である一定期間保存すること、ある一定期間記録した温度環境で保存することが製品に与える影響は同等であるということ。

ネットワーク図



語句説明

| 語句 | 内容説明 |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| アラーム | e-mailを通じて、担当者へ異常をお知らせします。電話にも対応。設定した正常域範囲外を計測値が上下した場合、赤字表示で異常をお知らせします。過去のアラームはゲージ右上のアラームリストアイコンよりご確認頂けます。 |
| クラウド | クラウドサーバはインターネット上に存在するサービスで、インターネットさえ繋がれば世界中どこからでも参照可能です。もちろんパスワードで保護されていますので、他人が閲覧することはできません。各種設定は、メイン画面のメニューから設定を選ぶと、クラウドサーバ経由で変更可能になります。 |
| 相対湿度 | 湿り空気の水蒸気量（湿度）を示す尺度の一つ。水蒸気分圧を飽和水蒸気圧のパーセンテージで表したものです。 |
| 定期レポート | システムを安定稼働させるために、決められた時間に自動で再起動します。 |
| ノード | 高性能温度センサを採用。リチウム電池を搭載しており、長期間に渡り安定した稼働をします。精密な時刻同期が行われ、同時に低消費電力モード（スリープ）から短時間で通常電力モードに復帰して通信を行います。中継ノードは通信の補助を目的に設置するもので、温湿度の計測を行いません。ノードの電池はベースステーションに電源が入っていない状態だと減りが早まります。 |
| ベースステーション | ノードが計測したデータはベースステーションを通じてクラウドサーバに送られます。 |